

生活安全ニュース

ネットワークカメラに関するセキュリティ対策の徹底について

警察庁生活安全局生活安全企画課の都市防犯対策官から日本防犯設備協会に対し、ネットワークカメラに関するセキュリティ対策の徹底について依頼がありました。

日本防犯設備協会では、平成28年2月1日配信のメールマガジンで加盟会員、全国の地域協会、防犯設備士へ周知を行いました。

また、防犯カメラに関するRBSS認定関連企業に対する説明会実施、防犯設備士テキストと防犯設備士更新テキストへ記載、各種セミナーでの周知、防犯カメラシステムガイド改訂時に追記等を実施しました。

事務連絡
平成28年1月28日
警察庁生活安全局生活安全企画課
都市防犯対策官
公益社団法人 日本防犯設備協会
代表理事 殿

ネットワークカメラに関するセキュリティ対策の徹底について（依頼）

新春の候、貴協会におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、警察行政の各般にわたり深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、防犯カメラにつきましては、先日来、インターネットを利用した防犯カメラ（以下「ネットワークカメラ」という。）の映像の一部が、パスワードを未設定又は初期設定のまま運用していたこと等により、インターネット上の特定サイトにおいて自由に閲覧できるという事実が報道されており、このようなネットワークカメラ映像を参考に犯罪を敢行しようとする者の出現が危惧されるところです。

つきましては、ネットワークカメラの製造、設置、運用の各段階において、セキュリティ対策の強化がなされるよう、下記の事項について貴協会の会員企業、地域関連協会等に働き掛けを行っていただくようお願いいたします。

なお、警察庁から各都道府県警察に対して、関係機関、団体と連携したネットワークカメラのセキュリティ対策の推進について指示しておりますので申し添えます。

記

1 ネットワークカメラメーカーが製造段階で行う対策

ユーザーが意図しないネットワークカメラの映像公開を防ぐことに資する対策であって、製造段階で講じができるものを導入すること。

2 ネットワークカメラの設置工事を行う事業者がカメラの設置段階で行う対策

ネットワークカメラの設置時に次の点についてユーザーに対して働き掛けること。

- ・ネットワークカメラのユーザーがパスワードを未設定又は初期設定のまま運用せず、他人に推測されない適切なパスワードの設定を行うこと。

- ・定期的にパスワードを更新すること。

3 ネットワークカメラの保守点検を行う事業者がカメラの保守点検等の機会に行う対策

ネットワークカメラの保守点検等ユーザーと接する機会を捉えて、ユーザーに対して、適切なパスワードの設定や定期的なパスワードの更新について働き掛けること。